

大麻で検挙される若者が急増しています！

## 薬物乱用は身近な問題です

大麻のことを甘くみていませんか？

法務省が発表した、全国の覚せい剤取締法違反による受刑者を対象者とした調査によると、対象者が最初に乱用した薬物を調査した時の年齢層別にみた結果、30歳以上では年齢層が上がるにつれて覚せい剤が増えている一方、30歳未満のものでは大麻の割合が最も多くなっているという結果でした。

軽い気持ちで大麻に手を出したら、覚せい剤等の薬物にまで手を出していた、ということにもなりかねません。間違った情報に惑わされて軽い気持ちで大麻に手を出すのは危険です。

大麻は心身への悪影響はない？



インターネット等で、「大麻は身体への悪影響がない」「依存性がない」などの誤った情報が氾濫しています。しかし、実際には大麻を乱用すると、大麻の花や葉に含まれる成分が脳に作用して様々な不具合を引き起こします。特に成長期にある若者の脳に対して影響が強いことも判明しています。またうる病や記憶障害を引き起こすなど、メンタルヘルスにも悪影響を与えます。間違った情報に流されず、正しい知識で判断しましょう。

### 大麻の乱用による影響

#### 知覚の変化 学習能力の低下

時間や空間の感覚がゆがむ  
短期記憶が妨げられる

#### 運動失調

瞬時の反応が遅れる

### 大麻の有害性

#### 精神障害

統合失調症やうつ病を  
発症しやすくなる

### 大麻を長く使い続ける影響

#### IQ(知能指数)の低下

短期記憶や  
情報処理速度が下がる

#### 薬物依存

大麻への欲求が  
抑えられなくなる

## SNSでの薬物の誘いに注意！

近年、薬物が密売買される手段として、危険が拡大しているのがSNSです。特にSNS上では大麻を意味する隠語などが使われ、大麻などの購入を促す内容が多く投稿されています。生徒の皆さんもそういった情報に簡単にアクセスし、実際に未成年の学生がSNSを通じて売人から大麻を購入した事件も複数報告されています。

SNSを通じて違法薬物の売人とかかわることは、多くの危険を伴います。SNSを活用している場合は注意しましょう

## 大麻の加工品や大麻を言んだ食品に気をつけろ！

大麻から成分を抽出した「大麻リキッド」や「大麻ワックス」など新しいタイプの加工品の摘発も増加しています。また、海外でお土産として売られているチョコレートやクッキー、キャンディなどの中に大麻が含まれていることがあります。誤って口にして体調不良で救急搬送された事例も発生しているので十分に注意しましょう！



## 薬物の誘いに、きっぱりNO！と断る勇気を！

薬物を乱用するきっかけは「友人からの誘い」が多いと報告されています。言葉で断れる場合は勇気を持ってきっぱり断ることが大切です。でも、身近な友人から誘われた場合には「仲間はずれにされるのが怖い」などの理由で、断りづらいと感じるかもしれません。そんな時は、とにかくその場から立ち去りましょう。立ち去ることも勇気です。一人で問題を抱え込まないで、信頼できる大人や専門の窓口にご相談してください。